

セミナーのご案内

今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

高等教育活性化シリーズ 129(通算 398 回)

2008 年 11 月 14 日(金)

“小なりだから輝く”大学シナリオ

コンパクト・ユニバーシティの教学経営の実際

～ 適正スリム化 / 大学構想力 / 資源の選択集中 / 地域共創 ～

スリム化経営モデルと課題 / 改革への実施計画 / 魅力ある学園づくり / 優れた改革の共通点
 (松本大学)「地域立大学」のミッション / 動機付け教育～研究的学びへ / オーダーメイド教育の展開
 (前橋国際大学) 地元が大好き / 顔が見える教育 / 学生中心・学生と共に創る / 全教職員参画会議
 (新潟産業大学) “濃縮化”決断のポイント / アンケート・ヒアリング調査 / 学生満足度向上へ

講師陣

西井 泰彦 氏 / 日本私立学校振興・共済事業団私学経営情報センター長
 住吉 廣行 氏 / 松本大学学長代行
 大森 昭生 氏 / 共愛学園前橋国際大学国際社会学部長、地域共生研究センター長
 広川 俊男 氏 / 新潟産業大学学長

2008 年 11 月 14 日(金) アルカディア市ヶ谷・私学会館 会議室 (東京・市ヶ谷)

地域科学研究会
 高等教育情報センター

日 時：2008 年 11 月 14 日(金) 9:40～16:30

会 場：アルカディア市ヶ谷(私学会館) 会議室
 (東京・市ヶ谷) 千代田区九段北 4-2-25
 TEL 03(3261)9921

アクセス：東京メトロ有楽町線・南北線、都営新宿線
 「市ヶ谷駅」A1-1 または A4 出口、
 JR 中央線「市ヶ谷駅」から徒歩 2 分
<http://www.arcadia-jp.org/access.htm>

会場の地図及び受講証を送付しますので必ずご確認ください。

参加費：A. 一名(資料代込)

40,000 円(消費税込)

B. メディア参加(資料・カセットテープ送付)

41,000 円(送料、消費税込)

参加費の払い戻しは致しませんので、申し込まれた方の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

FD・SD 及び BD 研修の本格化に伴い、2007 年から受講・修了証明書を発行しております。

キリトリ線(参加申込みの折は必ずお送りください)

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ

FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880

三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658

郵便振替 00110-8-81660

全ての口座名<(株)地域科学研究会>

ご請求なき場合は振込受領書を領収書に

代えさせていただきます。

申 込 先：地域科学研究会・高等教育情報センター

東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106

Tel:03(3234)1231 / Fax:03(3234)4993

E-mail:kkj@chiikikagaku-k.co.jp

URL: <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/>

研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 129

2008 年 月 日

コンパクト・ユニバーシティの教学経営の実際

当日参加

メディア参加

勤務先

所在地 〒

TEL

FAX

連絡部課・担当者

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

通信欄 支払方法(郵便振替・当日払い・銀行振込) 必要書類(請求書 見積書)

この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
9:40 、 11:10	<p>コンパクト・ユニバーシティの経営シナリオ ～ 中小規模大学法人の適正スリム化への経営モデル～ 日本私立学校振興・共済事業団 西井 泰彦</p> <p>1. 規模の縮小への動きと取組み (1) 学生数の減少と競争の激化 (2) 募集停止、改組転換、合併分離の動向 (3) 財政窮迫と経営破綻 (4) 設置基準と教員数</p> <p>2. 縮小均衡への経営課題 (1) ガバナンスとリーダーシップ (2) 改革への実施計画 (3) 人員削減と人件費抑制</p> <p>3. 私立大学の活性化と魅力アップ (1) 危機意識の共有と改善へのベクトル (2) 守備範囲の拡大による少数精鋭化 (3) 魅力ある学園づくりと充実した学生支援体制の構築</p> <p>4. 優れた改革事例に見られる共通の特徴 質疑応答</p>
11:20 、 12:40	<p>〔松本大学〕総合経営学部、人間健康学部、短期大学部の教学経営 ～ 地域をキャンパスに“社会力”ある人財を育てる～ 松本大学 住吉 廣行</p> <p>1. 松本大学ってどんな大学 (1) 「地域立大学」のミッション “地域社会の幸せづくり”の人づくり (2) 大学組織と教職員の仕事</p> <p>2. 地域と結びついた学習スタイル (1) 動機付け教育 アウトキャンパス・スタディとサポータ教育 (2) 研究的要素を含む学びの展開 学生のやる気を引き出し、自信を育む (3) 産・官・学の連携による魅力溢れる地域づくり</p> <p>3. 入学前から卒業後までの総合的支援システム (1) 教員と学生の距離が近い、オーダーメイド教育の展開 (2) 活発な校友会活動と元気溢れるキャンパスづくり (3) キャリアセンターとキャリア教育 質疑応答</p>
13:40 、 15:00	<p>〔共愛学園前橋国際大学〕小さくても明るく元気な大学運営 ～ 共に生き、共に活かされる大学づくり～ 共愛学園前橋国際大学 大森 昭生</p> <p>1. 本学について (1) キリスト教の教えに導かれた「共愛＝共生」の理念～母体は120周年の学園 (2) 地方・小規模・新設の3拍子～だからできること (3) 現在、定員確保、過去最高の在籍学生数</p> <p>2. 地方の大学～地域と共に～ (1) 約80%の学生が群馬県と近隣地域出身～地元が大好き (2) 「地域と共に、地域に学ぶ大学」～参画型・体験型プログラム</p> <p>3. 小規模な大学～コンパクト・カレッジの強み～ (1) 「ちょっと大変だけど、実力がつく大学です」～「入学して力がついた」(80%の学生) (2) 笑顔があふれるキャンパス～「顔が見える」教育 (3) 1学部1学科(国際社会学部国際社会学科)でも多彩な学び 1) 5コース 英語/国際/情報経営/心理人間文化/児童教育 2) 教職8課程 小・中(英語/社会)・高(英語/地歴/公民/情報/商業)</p> <p>4. 新設だからできること～キャンパスは共創のコミュニティ～ (1) 「学生中心・学生と共に創る」が合言葉～学生参画の仕組み ～「入学してよかった」(85%の学生)/学生が受験生を招く (2) 全教職員が参画するスタッフ会議とフラットな大学運営 ～人件費抑制規程 もみんなで策定 質疑応答 (人件費が帰属収入の55%を超えたら抑制するという規程だが、未だ55%を超えたことはない。)</p>
15:10 、 16:30	<p>〔新潟産業大学〕2学部3学科から経済学部2学科への“濃縮”経営 ～「経営改革推進室」の調査・検討/入定220人から160人体制へ～ 新潟産業大学 広川 俊男</p> <p>1. 「短大から4年制大学に移行」後の20年 (1) 学部学科の増設・改編を振り返る (2) 外部環境の変化と学生数</p> <p>2. “濃縮化”決断までの経緯と今後の見通し (1) アンケート・ヒアリングのニーズ調査結果 (2) 討論の経過と決断のポイント (3) 学生数確保の見通しと人的資源整理の見通し</p> <p>3. 重点課題の設定と取り組みの現況 (1) 在学生の卒業までの教育責任と体制 (2) 「学生の満足度向上」への取り組み (3) 「地域との連携」への取り組み (4) 学院60周年・大学20周年の記念事業からの再構築 質疑応答</p>